第3回 5.26 土木自主講座

大学当局の弾圧策動を粉砕し 土木自主講座に結集を！

前二回の自主講座を東京工学部教授会、土木教室教官会議のロックアウト策動、旧都市工学専攻に対する干渉をはねのけ開催した土木自主講座実行委員会は、その第三回講座を来たる26日に開催いたします。第一回自主講座を二百数十名の学生により開催し、その圧倒的な大学生に警戒した大学当局は、第二回に到っては教室という名目をとらざるを得なかった。我々はこの様な講座を通じて学問の自由を奪いとり、又教養部、他学校との連帯を深めて行き、当局の押しつけて来た非民主的制約と形骸化して行く学問を救いたいと思います。

我々技術者の「タマゴ」の姿勢を再検討せよ！

日本独占資本主義は今や東南アジアへの資本進出のテンポのアップと新安保をひかえて、国内的には公害・災害問題を拡大せしめて来た。そしてとりわけ東大・京大等以来の全国学園斗争に於いて資本に奉仕するものとしての技術者への批判はきびしいものとなった。そこにおいて提起された近代主義の矛盾とその非人間性の問題は、我々技術者のタマゴとして自身の問題であると考えます。細分的な専門意識として一面的技術観・部分さえもそれが他者では資本のための批判と疎外の代行人の役割を持つ。技術者の斗いの方向はいかにあるべきか前二回の講座を踏まえ、第三回において討論をしあう、考え合って行きたいと思います。

5月26日 午後2時30分 722講堂
テーマ・"技術者の斗いの方向をさぐる"（前回・討論形式を重点的に行います）
講師・都立大助教授 湯浅欽史氏
主催・土木自主講座実行委員会